

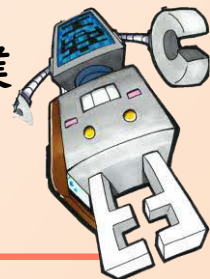


イメージキャラクター「こまちゃん」

令和5年度熊本スーパーハイスクール（KSH）構想県指定校事業

鹿本商工高校「あったらいいな」をカタチにする！

～学校の特色を生かした地域貢献と学校魅力化 Ver.2～



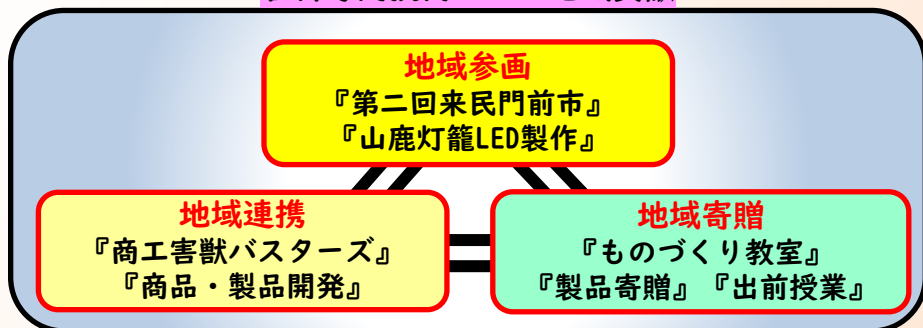
イメージキャラクター「テクちゃん」

1 事業背景と目的

県指定事業の2年目として、初年度（令和4年度）の取組を充実させ、地元自治体や関係団体等と連携・協働して、本校の魅力を発信する。また、山鹿・鹿本地域にある商業系と工業系の学科を有する高校として、専門的な知識・技術を発揮し、持続可能な地域社会づくりに貢献できる人材の育成を目的とする。

2 事業の三本柱

各科専門技術による地域貢献



3 事業紹介

(1) 地域参加 『第二回来民門前市』

地域の町おこし事業「来民門前市」に参加し、地域PR活動や商品開発、ものづくりを通して地域と交流を深め、地元商店街の活性化を図る。また、本校でこれまで培った知識や技術をアピールする場として活用した。

商業科・情報管理科



企業コラボ開発製品
『餃子・チョコ福』販売

機械科



最新設備「レーザー加工」
『キーホルダー販売』

電子機械科



『ロボット操縦・体験』
最新設備『産業用ロボット』



スマホで情報発信
『ブース紹介HP開設』

(2) 地域参加 『山鹿灯籠LED製作』 【電子機械科】

贈呈式の写真（中央は山鹿市長）

4年ぶりに開催された「山鹿灯籠まつり」で使用される灯籠のLEDを山鹿市観光課の依頼により製作した。「ゆらぎ」LEDにより、本物のろうそくの炎のように見せ、幻想的な光を実現した。今年度は120機を予定とし、数年かけて合計1000機の納入を計画している。



(3) 地域連携 『商工害獣バスターズ』

県北地域は山と隣接しており、害獣（イノシシ）による被害が深刻である。地域からの要望で令和4年度から発足した「商工害獣バスターズ」で地域連携を図った。今年度の実績は、機械科による箱罾1台（合計3台目）、商業科によるジビエ料理普及のための商品開発（2月ジビエ甲子園に出場予定）、情報管理科ではバスターズの活動情報発信を行った。

機械科



箱罾設置（合計3台目）

商業科



『ジビエギョウザ』開発

(4) 地域連携 『商品・製品開発』【商業科・情報管理科】

商業系学科（商業科・情報管理科）は、これまでの重光産業「味千ラーメン」様とのコラボで生まれた「商麺ラーメン」を始め、ギョウザ・アイスクリーム・洋和菓子などに商品開発に力を注いだ。また、和ろうそくやひのきの芳香剤などの製品開発も手掛けている。

商業科・情報管理科



(5) 地域寄贈 『中学生ものづくり教室』【電子機械科】

8月に近隣の中学生を対象にものづくり教室を行った。今年度は半導体人材育成にも考慮した題材で「マトリックスLED回路」を行った。電子部品のはんだ付けやプログラミングを駆使して、オリジナル電光掲示板の製作をした。



(5) 地域寄贈 『鋤簾・簡易かまど・リヤカー』【機械科】

平成29年7月に起きた北九州豪雨災害から被災地へ送り続けている「鋤簾」。これまでに1732本を被災地に送った。また、2年前から簡易かまども製作している。リヤカーも昨年度に引き続き、近隣の中学校に6台寄贈した。

